

# めいとく権利擁護自己評価表結果一覧

前回より評価が上がっていれば↑、下がっていれば↓、変わっていなければ→で表示する

1=不完全 2=もう少し 3=まあまあ 4=ほぼ出来ている 5=非常に出来ている					
番号	評価内容	令和4年9月	令和4年12月	前回との比較	
1	ご利用者様を「さん」付けにて名前を呼びます。 ※呼び捨てやニックネームで呼びません。	5.0	5.0	0.0	→
2	スタッフ相互の会話や会議等の場面においても、ご利用者様に対して敬称を付けます。	4.9	4.9	0.0	→
3	ご利用者様との会話は敬語を使っています。	4.1	4.0	-0.1	↓
4	ご利用者様に対して「～しなさい!」のような上下関係での命令語は使用しません。	5.0	4.9	-0.1	↓
5	ご利用者様の言葉や身体的特徴をまねしません。	4.7	4.9	0.2	↑
6	ご利用者様がおびえたり不安になったりするような威圧的な態度はとりません。	4.9	4.7	-0.2	↓
7	身体的暴力・言葉の暴力・無視等、ご利用者様を傷つける言動は行いません。	5.0	4.9	-0.1	↓
8	ご利用者様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけで返答をしています。(例:〇〇が終わったら行きます。)	4.6	4.3	-0.3	↓
9	ご利用者様自身ができることを職員が代わりにしません。	4.5	4.5	0.0	→
10	不適応行動があった際は、叱責ではなくなぜそのような行動に至ったかを考えます。	4.8	4.4	-0.4	↓
11	職員都合により、ご利用者様を急かしたりしません。	4.7	4.4	-0.3	↓
12	必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用者様の理解度に応じて分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。(ルビ、図、絵カード)	4.8	4.5	-0.3	↓
13	業務上知り得たご利用者様に関する事柄は、第三者へ話しません。 (第三者は自身の家族や親戚も含みます)	5.0	4.7	-0.3	↓
14	本人の意思や希望を理解するために、本人の嗜好や希望、価値観などについて支援者間で情報共有出来るようにしています。(ご利用者様の状況報告)	4.8	4.6	-0.2	↓
15	ご利用者様の変化に気づくよう目配り・気配りをしています。	4.6	4.4	-0.2	↓
16	ご利用者様の変化に気づいたらすぐに情報を発信しています。 (報告・連絡・相談)	4.7	4.4	-0.3	↓
17	ご利用者に関する出来事を簡易的ではなく前後のことなど詳しく伝達しています。(申し送り等引継ぎ)	4.6	4.4	-0.2	↓
18	他職員がご利用者様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたときは、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をしています。 ※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ	4.6	4.5	-0.1	↓
19	どんな時でも温かい雰囲気と笑顔で接し、ご利用者様がどんな場面でも安心して過ごせる環境作りを行います。	4.8	4.9	0.1	↑
20	ご家族やご利用者様から既存のサービスメニューにないサービスを求められたときは、話し合う場を設け出来るだけ応える努力をします。	4.7	4.6	-0.1	↓
21	支援内容に応じて、同性対応を行います。(身体介助、性の話など)	4.9	4.6	-0.3	↓
22	やむを得ず同性介助/同性対応が出来なかった場合は上司に報告します。	4.9	4.5	-0.4	↓
23	プライバシーに関わる申し送りは(排泄や生理等)、ご本人や周囲に配慮して行います。	4.6	4.8	0.1	↑
24	ご利用者様の「安心・安全・安らぎ」を守るため、ご利用者様及びご家族からのご意見苦情には真摯に向き合い、迅速かつ誠実な対応をします。	4.8	4.5	-0.2	↓
25	定められたマニュアルをきちんと守り、ご利用者様の事故防止・安全管理に努めます。	4.8	4.8	-0.1	↓
		4.8	4.6		

権利擁護アンケート結果 チャレンジめいとくの里介護系

めいとく権利擁護自己評価表結果一覧 R5.3月 回答数48

前回より評価が上がっていけば↑、下がっていけば↓、変わってなければ→で表示する

番号	評価内容	前回の平均	今回の平均	前回との比較
1	ご利用者を「さん」付けにて名前を呼びます。 ※呼び捨てやニックネームで呼びません。	4.4	4.4	→
2	スタッフ相互の会話や会議等の場面においても、ご利用者様に対して敬称を付けます。	4.5	4.5	→
3	ご利用者様との会話は敬語を使っています。	3.8	3.9	↑
4	ご利用者様に対して「～なさい!」のような上下関係での命令語は使用しません。	4.5	4.6	↑
5	ご利用者様の言葉や身体的特徴をまねしません。	4.6	4.6	→
6	ご利用者様がおびえたり不安になったりするような威圧的な態度はとりません。	4.5	4.6	↑
7	身体的暴力・言葉の暴力・無視等、ご利用者様を傷つける言動は行いません。	4.6	4.6	→
8	ご利用者様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけて返答をしています。(例:〇〇が終わったら行きます。)	3.7	3.9	↑
9	ご利用者様自身ができることを職員が代わりにしません。	4.0	4.2	↑
10	不応行動があった際は、叱責ではなくなぜそのような行動に至ったかを考えます。	4.1	4.3	↑
11	職員都合により、ご利用者様を急かしたりしません。	3.8	4.1	↑
12	必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用者様の理解度に応じて分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。(ルビ、図、絵カード)	4.0	4.2	↑
13	業務上知り得たご利用者様に関する事柄は、第三者へ話しません。 (第三者は自身の家族や親戚も含みます)	4.8	4.7	↓
14	本人の意思や希望を理解するために、本人の嗜好や希望、価値観などについて支援者間で情報共有出来るようにしています。(ご利用者様の状況報告)	4.4	4.4	→
15	ご利用者様の変化に気づくよう目配り・気配りをしています。	4.4	4.4	→
16	ご利用者様の変化に気づいたらすぐに情報を発信しています。 (報告・連絡・相談)	4.5	4.6	↑
17	ご利用者に関する出来事を簡易的ではなく前後のことなど詳しく伝達しています。(申し送り等引継ぎ)	4.3	4.4	↑
18	他職員がご利用者様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたときは、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をしています。 ※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ	4.1	4.2	↑
19	どんな時でも温かい雰囲気と笑顔で接し、ご利用者様がどんな場面でも安心して過ごせる環境作りを行います。	4.2	4.4	↑
20	ご家族やご利用者様から既存のサービスメニューにないサービスを求められたときは、話し合う場を設け出来るだけ応える努力をします。	4.1	4.2	↑
21	支援内容に応じて、同性対応を行います。(身体介助、性の話など)	4.5	4.4	↓
22	やむを得ず同性介助/同性対応が出来なかった場合は上司に報告します。	4.3	4.3	→
23	プライバシーに関わる申し送りは(排泄や生理等)、ご本人や周囲に配慮して行います。	4.4	4.5	↑
24	ご利用者様の「安心・安全・安らぎ」を守るため、ご利用者様及びご家族からのご意見苦情には真摯に向き合い、迅速かつ誠実な対応をします。	4.4	4.4	→
25	定められたマニュアルをきちんと守り、ご利用者様の事故防止・安全管理に努めます。	4.5	4.6	↑
合 計				
1=不完全 2=もう少し 3=まあまあ 4=ほぼ出来ている 5=非常に出来ている		4.3	4.4	↑

### 全体的に点数が低かった項目

前回と比較すると全体的に上がっている。2項目のみ下がっていた。

項目 13 業務上知り得たご利用者様に関する事柄は、第三者へ話しません。

- ・項目 13 の話しはなかった。

項目 21 支援内容に応じて同性対応を行います。(性の話など)

- ・男性職員がいない時、ご利用者さまがトイレに行かれ立ち上がられたので介助した。

その他で

項目 3 ご利用者様との話は敬語で行っています。(3.8→3.9)

と上がっているが、低い項目として意見が多く上がっていた。

- ・ご利用謝様によっては敬語を使わない方が本音で話して下さるので使わない時が多い。ただ、信頼関係ができていない方や敬語を使った方がいい方には使用している。その場面やご利用者様によって使い分けている。
- ・敬語と心がけていてもふとした時に敬語を忘れてしまうことがある
- ・ご利用者様との会話で、敬語はあまり使用せずに丁寧語で対応しています。
- ・ご利用者様の真似をしてニックネームで呼んでしまうことがあります。
- ・ご利用者様に伝わりやすいように敬語じゃない時がある。丁寧な対応をしている。
- ・急いでいる時などです。
- ・「敬語は使わないで」と言われるご利用者様がおられます。
- ・馴れ合い
- ・何時も敬語は難しいです！出来るだけ優しく声かけする様してます
- ・親しくお話する事が必要な場面がある

### 今回ポイントが高かった項目

項目 12 必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用者様の理解度に応じて 分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。(ルビ、図、絵カード)

- ・ご利用者様に必要な情報は、ポスター等や絵カードで視覚的に分かりやすくお伝えしている。

項目 25 定められたマニュアル、支援する為の行動規範をきちんと守り、ご利用者様の事故防止・安全管理・権利擁護に努めます。

- ・ご利用者様を自分の家族と考え接するよう心がけてます
- ・安全第一を心がけています。

結果より、全て前回より上がっています。またアンケートへのご協力も前回は上回り(前回49人→今回53人)皆さんが意識を持って取り組まれていると思います。  
点数が低かった項目では人員不足でご利用様を急かす場面があったなどありましたが、本当はしたくない支援だと意識を持って取り組まれているのが分かりました。  
今後も権利擁護に対して意識をしながら取り組んで頂ければと思います。  
ご協力ありがとうございました。

【集計・分析 介護系権利擁護委員会】

●3月の研修(ハラスメント)について感想をお書きください。

・研修は受けておりませんが、権利擁護について当たり前の事ですが ふとしたときにそれを忘れてしまう状況も出てくるかもしれません しかし そのようなことのないように気をつけていきたいと思います

- ・3月は全体の会議や事務会議など権利擁護を振り返る機会がいつもより多く、特に気を付けることが出来ていたと思います。
- ・一つに絞っての研修のほうが良いのでは。
- ・ご家族からの生まれた時から今に至るまでの話を聞いて、ご両親の愛情の深さを感じました。明るく話しをしてくださっていましたが、母の頼もしさも感じました。
- ・お話を聞いてよかったです。
- ・最近自分に余裕がない為、意識出来ていないことが多いと気がつかされました。自分を見直すことの出来る時間になりました！
- ・これからも色々なことを心がけて勤務したいと思っております。
- ・改めて考えると、出来ていない、もしくは向上出来ていない事を振り返りました。
- ・いつまでも初心を忘れずにご利用様に接する
- ・出来ていないこともまだあるのでこれからも気を引き締めて取り組みたいです
- ・研修を通じてご利用様の支援を行う中で、この支援は適切な支援だったのか？と思う事が多々あります。ひとり一人の権利擁護や尊厳をしっかりと心に留めて、より丁寧な支援を心がけたいと思います。
- ・ご家族の話聞くことで、ご利用様の捉え方が変わると思う。今後も続けて欲しい研修です。
- ・日々新しいことに遭遇するが、慌てず冷静に対応できるように努めたい。
- ・お疲れ様です。あくまで自己評価なので、甘い所が多々あるかと思いますが、理想論かも知れませんが。

- ・自己の業務を見つめ直す、良い機会と思います。
- ・八木さんの話を聞いてとてもご苦労されたと思いますが、終始「生まれてきてくれてよかった。」と話される姿に深い愛を感じました。支援に対しても見方が変わる内容でよかったです。
- ・ご家族の話は、権利擁護研修でとても大事なことなので継続していきたい。
- ・八木さんの生い立ちを知ることができ、お母様の思いも知ることができてよかったと思いました
- ・めいとくの里がご利用者様にとって、安心して安らげる空間になるよう努力しなければいけないと感じた。
- ・八木様のお母様のお話をお聞きし、より一層理解が深まり、真摯に対応と支援を行っていきたいと思った
- ・Y氏の幼少期から現在の様子を聞き、Y氏の好きな所や少しずつ成長されていると部分を知ることが出来ました。Y氏にとってめいとくの里が家族のように安心して暮らせるように皆さんで支え合って支援したいと思いました。
- ・生い立ちから知ること、より一層いいサービスを心がけたくなった。
- ・常にご利用者様を思い、考えて支援に取り組んでいる。

## ケア・ハピネス権利擁護自己評価表結果一覧R5.3

前回より評価が上がっていれば↑、下がっていれば↓、変わっていなければ→で表示する

番号	評価内容	前回の平均	今回の平均	前回との比較
1	ご利用者様を「さん」付けにて名前を呼びます。 ※呼び捨てやニックネームで呼びません。	4.9	4.9	→
2	スタッフ相互の会話や会議等の場面においても、ご利用者様に対して敬称を付けます。	4.8	4.8	→
3	ご利用者様との会話は敬語を使っています。	4.0	4.0	→
4	ご利用者様に対して「～しなさい!」のような上下関係での命令語は使用しません。	4.8	4.7	↓
5	ご利用者様の言葉や身体的特徴をまねしません。	4.6	4.4	↓
6	ご利用者様がおびえたり不安になったりするような威圧的な態度はとりません。	4.6	4.5	↓
7	身体的暴力・言葉の暴力・無視等、ご利用者様を傷つける言動は行いません。	4.5	4.6	↑
8	ご利用者様の訴えに対して「ちょっと待って」は使わず、見通しのたつ具体的な声かけで返答をしています。(例：〇〇が終わったら行きます。)	3.7	3.8	↑
9	ご利用者様自身ができることを職員が代わりにしません。	3.7	3.8	↑
10	不適応行動があった際は、叱責ではなくなぜそのような行動に至ったかを考えます。	4.2	4.3	↑
11	職員都合により、ご利用者様を急かしたりしません。	4.2	4.1	↓
12	必要な情報・説明事項などをお伝えする時はご利用者様の理解度に 応じて 分かりやすい言葉や非言語的表現に置きかえます。(ルビ、図、絵 カード)	4.0	4.1	↑
13	業務上知り得たご利用者様に関する事柄は、第三者へ話しません。 (第三者は自身の家族や親戚も含みます)	4.7	4.7	→
14	本人の意思や希望を理解するために、本人の嗜好や希望、価値観などについて 支援者間で情報共有出来るようにしています。(ご利用者様の状況 報告)	4.1	4.3	↑
15	ご利用者様の変化に気づくよう目配り・気配りをしています。	4.3	4.2	↓
16	ご利用者様の変化に気づいたらすぐに情報を発信しています。 (報告・連絡・相談)	4.4	4.3	↓
17	ご利用者に関する出来事を簡易的ではなく前後のことなど詳しく伝 達しています。(申し送り等引継ぎ)	4.2	4.2	→
18	他職員がご利用者様に対する支援の在り方・言動に疑問を感じたとき は、小さな事でもいいので直ちに上司へ相談・報告をしています。 ※職員の支援放棄・虐待を未然に防ぐ	4.2	4.1	↓
19	どんな時でも温かい雰囲気と笑顔で接し、ご利用者様がどんな場面 でも安心して過ごせる環境作りを行います。	4.3	4.3	→
20	ご家族やご利用者様から既存のサービスメニューにないサービスを 求められたときは、話し合う場を設け出来るだけ応える努力をします。	4.0	4.2	↑
21	支援内容に応じて、同性対応を行います。(身体介助、性の話な ど)	4.6	4.6	→
22	やむを得ず同性介助/同性対応が出来なかった場合は上司に報告しま す。	4.4	4.4	→
23	プライバシーに関わる申し送りは(排泄や生理等)、ご本人や周囲 に配慮して行います。	4.6	4.4	↓
24	ご利用者様の「安心・安全・安らぎ」を守るため、ご利用者様及び ご家族からのご意見苦情には真摯に向き合い、迅速かつ誠実な対応 をします。	4.3	4.6	↑
25	定められたマニュアルをきちんと守り、ご利用者様の事故防止・安 全管理に努めます。	4.6	4.5	↓
1=不完全 2=もう少し 3=まあまあ 4=ほぼ出来ている 5=非常に出来ている		4.3	4.4	↑